

# 弘前市 Well-being地域社会共創プロジェクト 「メタボリックシンドローム予防・改善事業」 (青森県弘前市)

|        |  |
|--------|--|
| 事業主体者  | 弘前市  |
| 事業期間   | 令和7年10月～令和10年3月  |
| 受託事業者  | 株式会社東北博報堂青森ビジネスデザイン局   |
| 協力機関   | 弘前大学、弘前大学COI-NEXT参画企業、青森県など  |
| 主な取組内容 | 働き盛り世代の市民を主なターゲットに、<br>弘前大学が開発した「QOL健診」と弘前大学COI-NEXT参画企業等の健康プログラムを提供<br>／ 将来の働き盛り世代に対する健康教育等実施 |
| 委託費    | 181,500千円 (固定支払額:135,978千円、 <b>成果支払額(上限額):45,522千円</b> )                                       |
| 主な成果指標 | QOL健診受診者数、健康プログラム継続率、メタボ該当者の割合   |

## (例) 健康プログラム

成果指標 [1年目・2年目]

S0 健康プログラムの継続率 70%

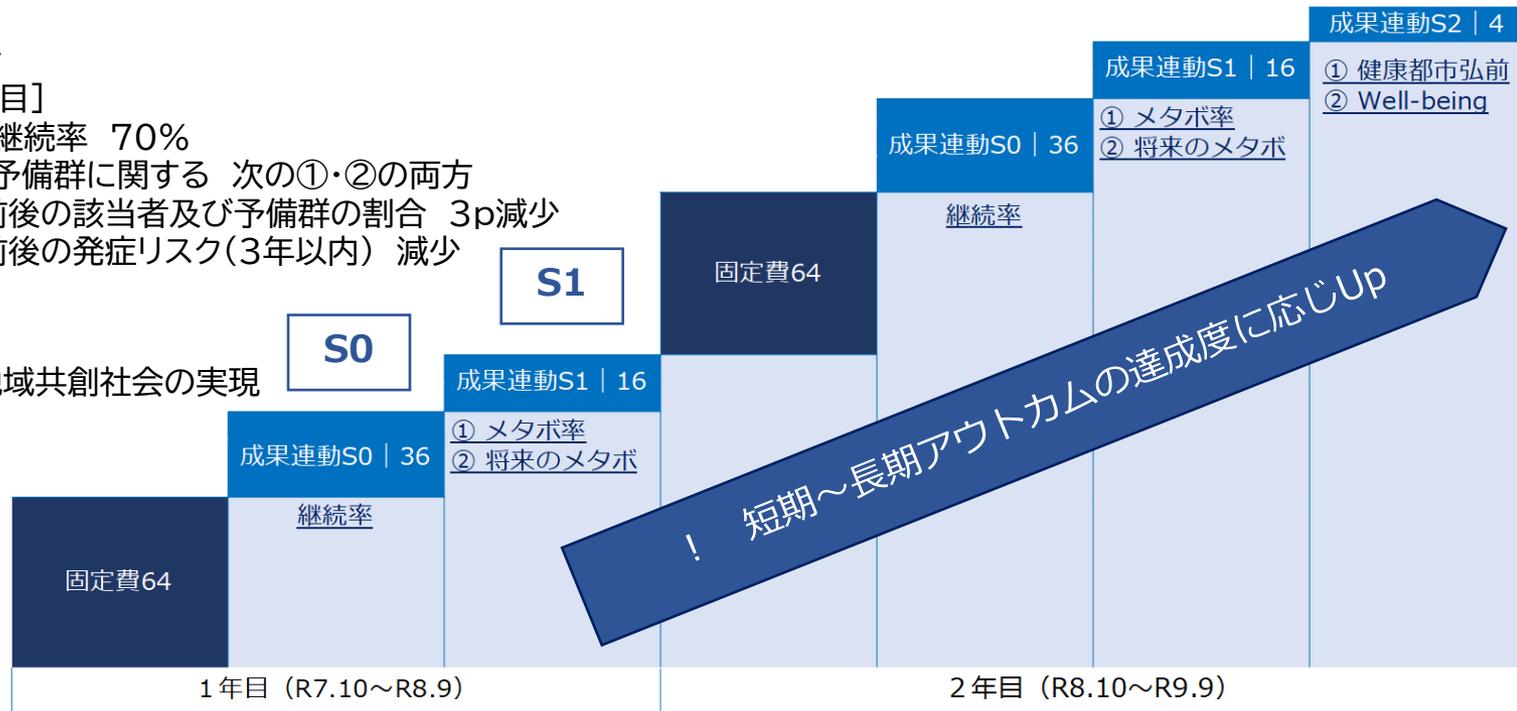
S1 メタボ該当者及び予備群に関する 次の①・②の両方

- ① 健康プログラム前後の該当者及び予備群の割合 3p減少
- ② 健康プログラム前後の発症リスク(3年以内) 減少

成果指標 [総合評価]

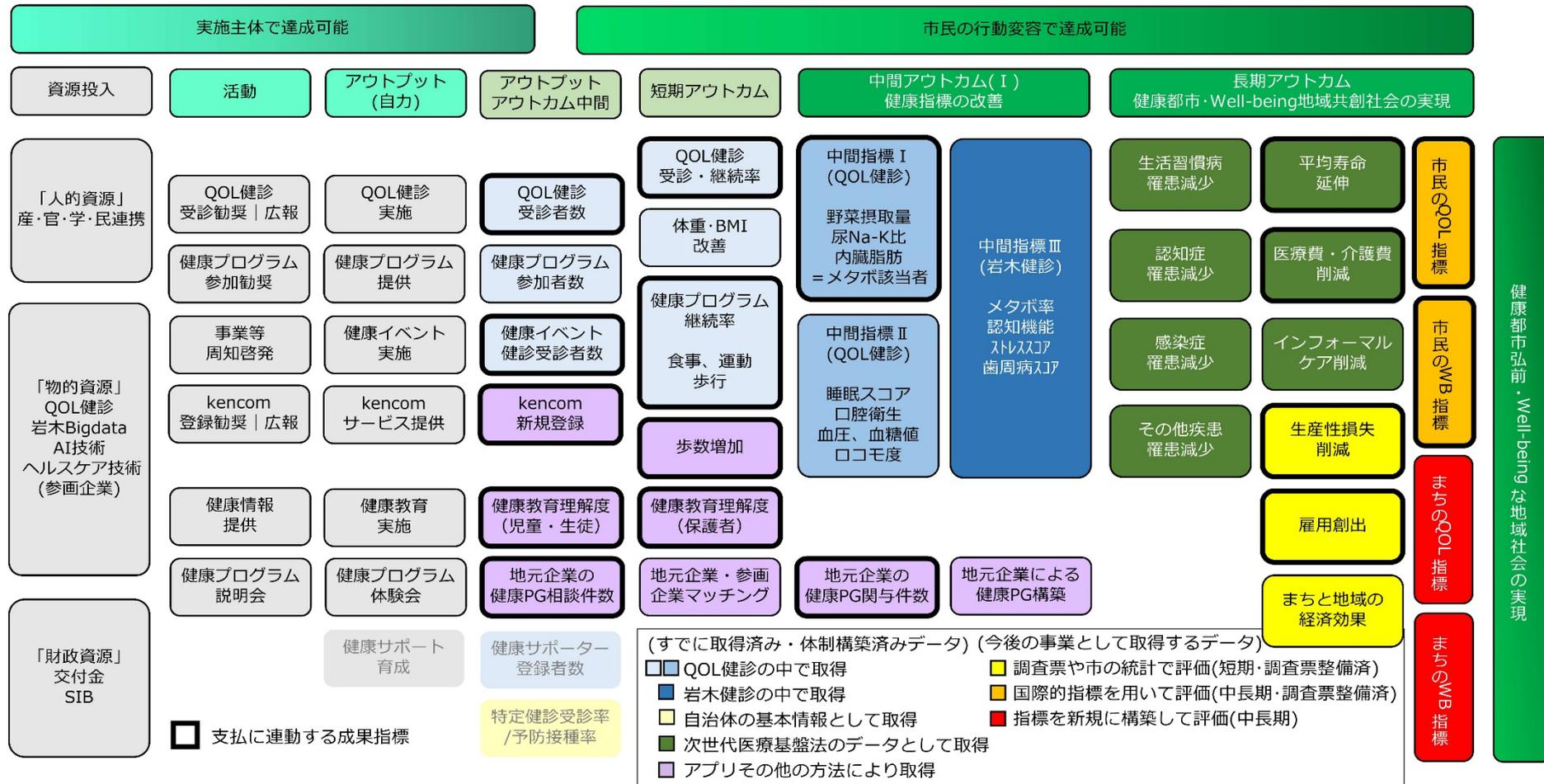
S2 健康都市弘前及び

Well-beingな地域共創社会の実現



# 弘前市 Well-being地域社会共創プロジェクト 「メタボリックシンドローム予防・改善事業」 (青森県弘前市)

## ロジックモデル



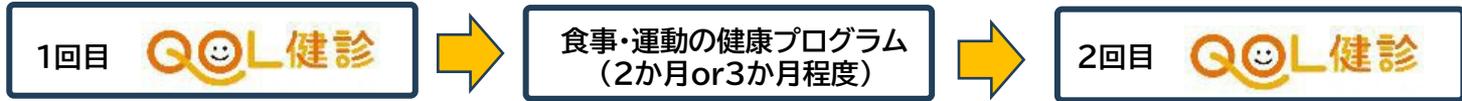
データなしの推論ではなく、健康面・費用面全てのデータを取得できる環境を整備済

# 弘前市 Well-being地域社会共創プロジェクト 「メタボリックシンドローム予防・改善事業」 (青森県弘前市)

## 事業の全体像



## 実施状況



令和7年12月  
**職域**開始  
令和8年2月  
**イベント**開始



**《参加者の感想》**

- ・野菜を取るために料理も工夫するようになり、生活の質が上がった。
- ・いざ運動するとストレス解消ですっきりし、睡眠の質が良い。
- ・雪で体を動かすことが難しい冬の運動機会はととてもありがたい。